

教科 教養 科

科目	地域学	学年・コース	2 学年	地域政策 コース	単位数	1 単位	区分	必修
学習の目標		・阿智村を中心に、下伊那地域の社会・文化・歴史・産業などを学び、地域の現状と課題について理解を深め、今後の地域発展を積極的に志向する視点・態度を養う。						
教科書		なし						
補助教材等		自主制作プリントなど						
学期	月	学習内容			学習のねらい			時間
1 学期	4	①学習の意義			・地域政策コースでの学習の意義について理解する。			1
		②③地理の基本			・日本の地域的特徴、気候区分の基礎を学ぶ。			2
	5	④～⑦下伊那の地理			・下伊那の市町村、地理的特徴・気候区分、阿智村の位置・地理、気候について学ぶ。			4
	6	⑧⑨地学の基本			・地学の基礎を学ぶ。			2
	7	⑩～⑬下伊那の自然			・下伊那の自然的特徴、自然災害、阿智村の自然、自然災害について学ぶ。			4
2 学期	8	⑭～⑰「信濃の国」			・「信濃の国」を基に、行政機関、経済、産業、社会・暮らし、文化を学ぶ。			4
	9							
	10	⑱～㉓伊那の歴史			・伊那の行政の歴史、下伊那の経済、産業等の歴史、阿智村の経済、産業等の歴史、下伊那の社会、身分について学ぶ。			10
	11							
	12				・暮らし等の歴史、下伊那の文化の歴史、阿智村の文化の歴史を学ぶ。			
3 学期	1	㉔～㉖下伊那地域の現状			・下伊那の行政、産業、リニア、三遠南信自動車道の開通に伴う地域の変化、下伊那地域の自治や地域づくり、現状と課題について学ぶ。			7
	2	㉗まとめ			・1年間の学習のまとめを行う。			1
評価の観点	知識・技能		地域の自然・歴史・現状などを理解しているか。					
	思考・判断・表現		地域の自然・歴史・現状などを説明でき、それをもとに自分の考えを持ち、議論、発表できるか。 図版や資料を読みとり、それらからわかることを、自らの考えとしてまとめることができるか。					
	主体的に学習に取り組む態度		地域に関心を持ち、主体的に探究しようとしているか。					